

令和5年度 宇都宮市冒険活動運営協議会



日時：令和6年2月6日（火）9:30～11:00
会場：宇都宮市冒険活動センター会議室

1. 副会長の選任について
2. 報告事項
令和5年度事業報告について
3. 協議事項
令和6年度事業計画(案)について
4. その他
今後の冒険活動センターの運営について

令和5年度宇都宮市運営協議会委員名簿



Bouken
SHINJI・UTSUNOMIYA

NO	区 分	委員名	団体名等	備 考
1	学識経験者	石塚 諭	宇都宮大学准教授	4年目
2		平野 勝	篠井地区ゆたかな まちづくり協議会会長	7年目
3		大野 英克	県林業センター場長	2年目
4		坂内 剛至	ネイチャープラネット代表	14年目
5	社会教育関係	齊藤 竜也	市PTA連合会	2年目
6		金田 淳	市子ども会連合会	3年目
7		櫻井 政義	市ボーイスカウト・ガール スカウト連絡協議会	8年目

令和5年度宇都宮市運営協議会委員名簿



Bouken
SHINJI · UTSUNOMYA

8	社会教育関係	池田 幸枝	市レクリエーション協会	5年目
9		月橋 春美	県キャンプ協会	6年目
10	学校教育関係	稲澤 正明	市小学校長会	新任
11		高橋 裕一	市中学校長会	新任
12	公募	森嶋 礼奈	会社員	4年目
13		入江 里美	専業主婦	4年目

○開 所：平成8年7月

○設置目的

未来を担う子どもたちに豊かな自然と触れ合う体験の場を提供することにより，健全な成長を促すとともに，市民の野外でのレクリエーション活動を推進する。

○管理運営：宇都宮市教育委員会事務局
スポーツ振興課

<人員配置>

市職員	所長(1)，副所長(1) 指導主事(4)，主任(1)	計 7人
会計年度任用職員	管理業務(2)，看護業務(2) 受付業務(1)，専門指導業務(10) 事業支援業務(22)	計37人

○利用対象

区 分	対 象
①学校受入事業 (冒険活動教室)	宇都宮市立の全小中学校94校 小学5年生， 中学1年生
②一般受入事業	家族， グループ， サークル 社会教育関係団体， 学校 等
③主催事業	一般市民及び学校や各種団体等の指導者

○運営理念

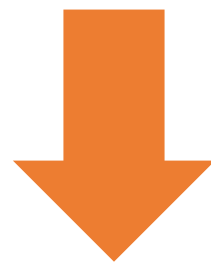
日常ではない「**環境**」（自然， 地域， 施設， 人材）を生かし，
「**プログラム**」（動的・静的）を通じて，
市民(ゲスト)に**感動と気づき， 充実感**を提供する，
「**宮っこのホーム・マウンテン**」づくりを目指します。 *感動＝心が動いた経験

2. 報告事項



ア 新型コロナウイルス感染症対策

- ・ 基本的感染症対策
- ◎ 施設の利用人数制限
- ◎ 冒険活動教室可否判断基準



「5 類感染症」移行に伴い、撤廃

イ 学校受入事業

【実施状況】(1/12現在)

- ・ 宿泊数 : 全校2泊3日
- ・ 通常実施 : 小学校49校, 中学校23校
- ・ 延期実施 : 中学校1校(コロナの影響)
- ・ 短縮実施 : 中学校1校(台風の影響, 1泊2日)



R5年度

8, 949人 ※見込み

【再開したアクティビティ】

- ・ 林業センター見学, イニシアティブゲーム(ウォール, ターザン等)

2. 報告事項 令和5年度事業報告について



＊引率者アンケートより＊

- ・4月の冒険活動教室は心配だったが、3日間あることで子どもたちの新たな一面をたくさん見つけることができ、これからの学級経営に生かすよい機会となった。
- ・どの活動でも児童がいきいきとしており、学校であまり活躍できない児童が進んで友達に声をかけたり課題に前向きに挑戦したりする姿を見ることができた。ここでの学びを今後の学校生活で発揮されるよう支援をしていく。
- ・冒険活動センターの指導者の児童に対する愛情の深さと真剣な働きぶりに感銘を受けた。教育に携わる自分の姿勢を振り返るよい機会となった。大人にとっても実りの多い3日間であった。



2. 報告事項 令和5年度事業報告について

ウ 一般受入事業

【利用人数の推移】

R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度※見込み
5 1 9 3 人	2 0 8 4 人	1 8 9 3 人	3 0 5 3 人	4 2 1 6 人

【リーダーバンク】

- ・登録人数 20人
- ・実施件数 8件（実施種目：イニシアティブゲーム，ネイチャーゲーム）

2. 報告事項 令和5年度事業報告について



＊利用者アンケートより＊

満足度：89%

- ・ 静かな夜を過ごせてよかった。
- ・ 朝きれいな鳥の鳴き声が聞こえて、素敵な時間を過ごせた。
- ・ 冒険活動センターは子どもの頃の思い出のある場所だが、大人になった今でも価値のある場所だと感じた。
- ・ アリーナで遊ぶ際に、いろいろと楽しめるものがあってよかった。



2. 報告事項 令和5年度事業報告について



エ 主催事業

新規① 『のぼろう！みどりのはるな山！』

内 容 ⇒ 親子で榛名山に登る。

対 象 ⇒ ①小学1,2年生を含む家族
②小学3,4年生を含む家族

参加人数 ⇒ 18組 50名 (応募数：18組)

実施日 ⇒ 5/5(金)…対象①
5/7(日)…対象②雨天

2. 報告事項 令和5年度事業報告について



＊参加者アンケートより＊

- ・子どもが登山に興味をもつよい機会となった。
- ・時期もよく、子どもと一緒に登るにはちょうどよい距離と時間だった。
- ・親子のよい思い出となった。
- ・子どもががんばっている姿を見られてよかった。
- ・スタッフのサポートがあったかった。安心して登ることができた。

2. 報告事項 令和5年度事業報告について

② 『冒険キャンプ』

内 容 ⇒ グループを組み，野外炊飯・川遊びなどの自然体験を行う。

対 象 ⇒ 小学5年生～中学3年生

参加人数 ⇒ 39名 （応募数：54名）

内訳：小5(14)，小6(15)，中1(8)，中2(2)，中3(1)

実施日 ⇒ 8/8(火)～10(木) 2泊3日

2. 報告事項 令和5年度事業報告について



＊参加者アンケートより＊

満足度：95%

- ・初めて会った仲間と一緒にするキャンプはちょっと心配だったけど、楽しかった。
- ・みんなと一緒に作ったご飯がおいしかった。
- ・グループのめあてを達成して、みんなと仲良くなれてよかった。
- ・初めてのカヌーはわくわくした。
- ・初めてのテントで、友達と学校の話をしたのが楽しかった。意外とよく眠れた。

2. 報告事項 令和5年度事業報告について



③ 『ちびっこキャンプ』

内 容 ⇒ ネイチャーゲーム・野外炊飯・登山
などの自然体験を行う。

対 象 ⇒ 小学1，2年生

参加人数 ⇒ 24名 （応募数：137名）

内訳：小1(12)，小2(12)，

実施日 ⇒ 8/26(土) 日帰り

9/23(土)～24(日) 1泊2日 計3日間

2. 報告事項 令和5年度事業報告について



＊参加者アンケートより＊

満足度：100%

- ・マッチで火をつけたことをがんばった。
- ・自分で荷物をつめることをがんばった。
- ・山登りでてっぺんまで諦めずにのぼりきった。
- ・バツタをつかまえることが得意になった。
- ・お友達に教えることができた。
- ・とても楽しかった。また来たい。

④ 『子どものもりフェスティバル』

内 容 ⇒ 冒険活動センターの施設を開放し、
自然体験を行う。

対 象 ⇒ なし

参加人数 ⇒ 約500名

実施日 ⇒ 10/8(日)

協力団体 ⇒ 11団体

- ・ イートランド(株)・ネイチャーフレンド(宇都宮大学)
- ・ 篠井地区ゆたかなまちづくり協議会・松寿会・南図書館
- ・ 自衛隊栃木地方協力本部・宇都宮市レクリエーション協会
- ・ 宇都宮市ベエゴマ協会・宇都宮ネイチャーゲームの会
- ・ 宇都宮ヤクルト物販株式会社、パルシステム茨城栃木

2. 報告事項 令和5年度事業報告について



＊参加者アンケートより＊

- ・ 普段の生活ではできない体験がたくさんありとても楽しかった。
- ・ 杉板焼きでとても良い経験＆お土産ができた。
- ・ TVゲームより自然に触れ合った方が楽しい。
- ・ 外での活動が開放的で楽しかった。
- ・ 今度はキャンプ(宿泊)をしに来たい。
- ・ スタッフが親切で、子どもと安心して楽しむことができた。
- ・ 大人も楽しめ童心に戻った気持ちになった。

⑤ 『家族ふれあいデイキャンプ』

内 容 ⇒ 家族で野外炊飯(クリスマスメニュー)
クラフト(お正月飾り)を行う

対 象 ⇒ 市内在住・在勤の小中学生を含む家族

参加人数 ⇒ 14組 49名 (応募数：42組)

実施日 ⇒ 12/3(日)

2. 報告事項 令和5年度事業報告について



＊参加者アンケートより＊

満足度：83%

- ・野外炊飯は本格的な内容でとても良い経験になった。
- ・子どもたちと作る料理として、質・量ともにちょうどよい内容だった。
- ・季節に合ったクラフトであり，子どもと一緒に作る体験ができてよかった。
- ・家ではできない火おこし・鶏の丸焼きなど，普段できないことにチャレンジし大人も子どもも楽しむことができた。

才 指導者養成事業

① 『冒険活動指導者研修会』

- ・ 対 象：「冒険活動教室」の引率者
- ・ 実施内容：「冒険活動教室」の計画調整
- ・ 実施方法：リモート
- ・ 実施数：小学校6回，中学校20回
地域学校園5回

2. 報告事項 令和5年度事業報告について



再開②『冒険活動実技研修会』

- ・対象：小中学校の引率者(希望者)
- ・実施内容：アクティビティの指導法，施設見学，リネンの使い方，レストラン食の実食 等
- ・参加人数：40名
(中学校教員18名，小学校教員22名)

2. 報告事項 令和5年度事業報告について

③ 『冒険活動アクティビティ研修』

- ・ 対象：小中学校の教員
- ・ 実施内容：アクティビティの体験，自然体
体験活動についての講義
- ・ 参加人数：21名
(中学校教員2名，小学校教員19名)

2. 報告事項 令和5年度事業報告について

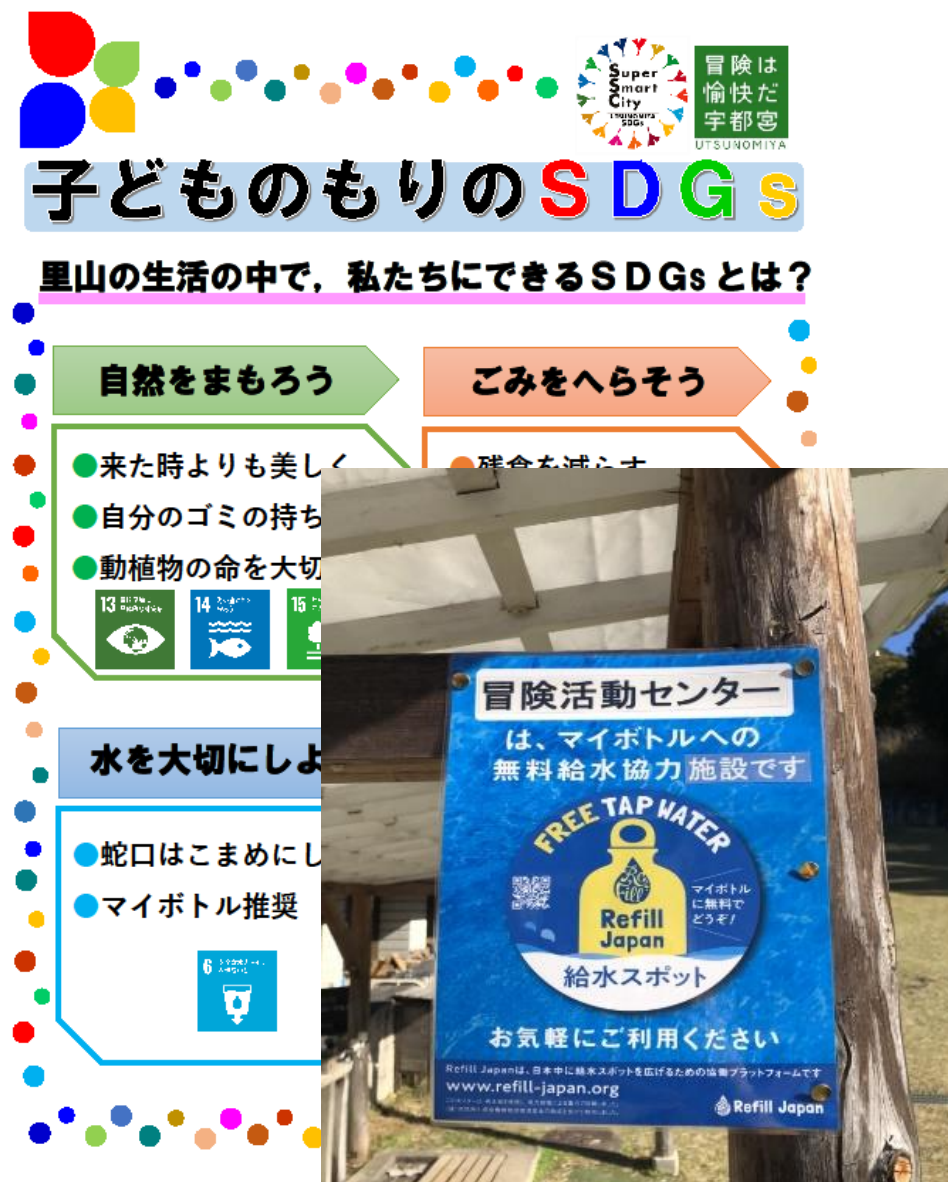


Bouken
SHINOBU · UTSUNOMIYA

力 その他

新規①『SDGsへの取組』

- ・ポスターの掲出
- ・“Refill Japan”の給水スポットの登録
- ・サポートカードへ明記



2. 報告事項 令和5年度事業報告について



新規②『「赤ちゃんの駅」への登録』

- ・ おむつ替え, ミルク用のお湯,
授乳室の提供

⇒ 1件 おむつ替え利用有



2. 報告事項 令和5年度事業報告について



Bouken
SHINOBU · UTSUNOMIYA

新規③ 『園内オブジェの製作』 『薪小屋の設置』



2. 報告事項 令和5年度事業報告について

④ 『インターンシップ，学生ボランティアの受入』

⇒ ・ インターンシップ7名（内，1名現在勤務）

- ・ 宇都宮大学，帝京大学
白鷗大学，国士館大学，
國學院大學，宇都宮共和大学

・ ボランティア2名

- ・ 宇都宮大学
- ・ 宮っこチャレンジ12校 33名
 - ・ 宇都宮市立の中学校

3. 協議事項



3. 協議事項 令和6年度事業計画(案)について【別紙】

ア 学校受入事業

【方向性】適切な支援体制のもと，安全かつ円滑な運営を行う。

冒険活動教室	・ 全校2泊3日(小学校68校， 中学校25校)
冒険活動事業の効果に関する調査研究	・ アンケート調査結果の検証・まとめ 【研究テーマ】 「冒険活動教室が児童生徒の自己肯定感に及ぼす効果に関して」
冒険活動実技研修会 (指導者養成)	・ 各学校の引率者を対象に，活動の指導方法，施設の利用方法等についての実技研修
冒険活動指導者研修会	・ 小学校指導者研修会 ・ 地域学校園指導者研修会 ・ 中学校指導者研修会

3. 協議事項 令和6年度事業計画(案)について【別紙】

イ 一般受入事業

【方向性】安全・安心に利用できる環境整備を進めるとともに、利便性の向上やおもてなしの充実を図る。

公園・施設の安全管理	・ 定期点検及び法定点検の確実な実施 ・ 危険個所の速やかな修繕等 ・ 施設改修に向けての検討
サービス(おもてなし)充実	・ キャッシュレス決済の導入 ・ インターネット予約の検討 ・ 園内展示物設置
レストランとの連携	・ 定例会

※R6年度一般利用可能日 144日(R5比較+12日)

3. 協議事項 令和6年度事業計画(案)について【別紙】



ウ 主催事業

【方向性】事業の効果的・効率的実施や活動の充実により，市民の自然体験活動の機会を充実する。

事業	日程	対象・人数
①のぼろう！みどりのはるな山！	4/28	小1～4年生を含む家族 20組
②冒険キャンプ	8/10～12	小5～中3年生 40名
③ちびっこキャンプ	8/24 9/21～22	小1～2年生 24名
④家族ふれあいデイキャンプ	12/8	市内在勤・在住の小中学生を含む家族 15組
⑤冒険Day 【新規】	12月～3月 第4日曜日	どなたでも各日20名程度

新規事業 『冒険Day』

目 的 ⇒ ①野外活動の理解促進, 余暇の充実

②冒険活動センターの利用促進

実施内容⇒ キャンドル作り, おやつ作り 等

※2～3時間でできるもの

対 象 ⇒ どなたでも 各日20名程度

実施日程⇒ 12月～3月の第4日曜日 4回

3. 協議事項 令和6年度事業計画(案)について【別紙】



エ 自然体験活動に関わる人材育成事業

【方向性】 自然体験活動指導に係る知識・技能を持つ人材の育成や受入れを行いながら事業運営を行う。

職員研修（NEALリーダー養成講習会）	冒険活動センター職員
宇都宮大学「野外教育」（3泊4日）	宇都宮大学共同教育学部学生
冒険活動アクティビティ研修	宇都宮市立小中学校の教職員（希望者）
リーダーバンク事業	自然体験活動指導者取得者
ボランティアとの協働	・ 冒険活動センターOB・OG ・ 自然体験活動指導者取得者 ・ 学生ボランティア（希望者）
インターンシップ等の受入	①大学生 ②高校生 ③宇都宮大学共同教育学部3・4年生
宮っこチャレンジの受入	宇都宮市立の中学校2年生

オ 広報・理解促進事業

【方向性】 ホームページやSNS等及び他機関との連携を活用し、冒険活動センターの理解と利用を促進する。

子どものもりフェスティバル	実施日：10/19(土) 施設の開放，自然体験活動の提供
知ってもらう運動	・ 広報うつのみや ・ SNS等インターネットを活用した情報発信 ・ ホームページを活用した情報発信
所報の発行	・ 定期的に発信
他機関との連携	・ 篠井地区市民センター ・ 親学出前講座 ・ 情報誌「こどもるっくる」 ・ U@りんくす

4. その他 今後の冒険活動センターの運営について

課 題	当面の対応
1 施設全体（施設，設備）の老朽化 ⇒施設の安全安心な運用や施設の長寿命化にかかわる改修等が多数必要 【主な要修繕箇所】管理棟・ワーク棟等の窓枠等，園路灯，機械室の機器，照明のＬＥＤ化等	・（大規模）所属課と連携を図り，計画的な改修，整備 ・（軽微）会計年度任用職員（管理2名）を中心に対応
2 レストランの持続的運営 ⇒物価高騰により収益化が困難	・ レストラン事業者との連携を密に運営状況の把握
3 一般利用者及び主催事業参加者数の回復 （一般利用）H29 267団体11,654人⇒R4 125団体4,047人 （主催事業）H29 18事業1,152人⇒R4 7事業775人	・ ＳＮＳ等の周知の強化 ・ 市民の利便性や付加価値の向上
4 会計年度任用職員(専門指導，事業支援)の継続的確保 ⇒専門的な知識や経験が必要であり，慢性的な人材不足	・ 広報紙，ＨＰ，ＳＮＳ等の広報媒体の活用や各大学への依頼などの連携を強化
5 受付管理に係るＤＸ ⇒インターネット・メールの活用に未対応，複雑な貸出手続	・ 宿泊管理システムの更新 ・ 利用受付及び顧客対応に係る手続効率化

4. その他 今後の冒険活動センターの運営について

- 当センターについては、現在まで施設及び運営に関する課題が増えてきてるところであり、これらに対応するとともに、令和8年度が30周年の節目であることから、将来を見据えた運営改善を図る機会として、既存の取組を生かしながら、施設及び運営に関するリフレッシュ事業に取り組む。

プレゼンス向上 [R5～R6]

運営方針の共有
活動の見える化
ゼロ予算の取組
D X の取組

新イメージ化[R6]

プラン作り（事業見直し含む）
運営協議会

30周年事業準備[R7～]

実施計画計上
運営協議会

30周年事業実施[R8]

飛躍の年へ

4. その他 今後の冒険活動センターの運営について

○地域との連携について

センターのプレゼンス（存在感，影響力）の向上及び青少年教育（地域人材育成）の視点から，地域連携による既存事業のアレンジや新規事業の実施など，今後も継続的に取り組んでいく。

①篠井（富屋）地区市民センターとの連携

⇒相互に常設掲示スペースの確保，リーダー（ボランティア）養成等

②子どものもりフェスティバルの活用

⇒地域団体，地域内学校等の参加勧奨，開催案内等

③篠井農産加工所との連携

⇒うどんぶち再開，地域講師等

④県林業大学校（R6.4開校）との連携

⇒ボランティアや事業支援業務の可能性，地域講師等

